

# 平成29年度 第3回医療福祉機器技術研究交流会 開催報告

## 「異業種からの医療機器開発参入のポイントと中国地域の研究シーズ」

主催：公益財団法人ちゅうごく産業創造センター

### 【概要】

公益財団法人ちゅうごく産業創造センターは、平成29年11月28日(火)、広島市のホテルセンチュリー21広島において「平成29年度 第3回医療福祉機器技術研究交流会」を開催しました。本交流会は、中国地域企業のヘルスケア・医療福祉機器ビジネスへの新規参入や新製品・事業化につながる出会いの場になることを期待して、ヘルスケア・医療福祉機器分野の最新情報や大学等における研究シーズを紹介するものです。「医療機器」をテーマとする第3回は、「異業種からの医療機器開発参入のポイントと中国地域の研究シーズ」と題して開催しました。

基調講演では、一般社団法人日本の技術をいのちのために委員会の上村 英一 氏から、ものづくり中小企業が医療機器開発を進める上でのポイントや支援活用の成功事例についてご紹介いただきました。講演では、株式会社麻生 飯塚病院の井桁 洋貴 氏に、民間病院における医工連携の取り組みと、同病院を中心に展開されている企業の開発者を対象とした臨床現場開放プログラム「飯塚メディコラボ」の概要について紹介していただきました。参加者からは、「中小企業が医療機器開発へ参入する際の留意点や支援策について体系的に解説され、大変参考になった」、「病院での医工連携の取り組みに大変感銘を受けた」といった声をいただきました。

研究シーズ紹介では、岡山県立大学の瀬島 吉裕 助教から、片麻痺の早期回復のための指運動リハビリテーションシステムの開発について、続いて川崎医科大学の玉田 利徳 准教授から、長孔穿設装置による脊椎内視鏡手術の新たな展開について、最後に岡山大学の深野 秀樹 教授から、高精度温度モニタ機能を集積したレーザー照射極細光ファイバ型ハイパーサーミア治療器の開発について紹介していただきました。

3件の研究シーズに5社が関心を示され、今後、フォローアップや事業化検討などマッチングを進めて参ります。

### 【講演風景】



### 【日程・場所】

日時：平成29年11月28日(火) 13:30～17:10  
会場：ホテルセンチュリー21広島（広島市南区的場町1-1-25）

【参加者】 67名

### 【プログラム】

- 基調講演 「ものづくり中小企業の医療機器開発参入におけるポイントと支援活用の成功事例」  
一般社団法人日本の技術をいのちのために委員会 理事／レギュラトリアフェア  
コンサルティング 上村 英一 氏
- 講演 「民間病院における医工連携の取り組みと企業向け臨床現場開放プログラムについて」  
株式会社麻生 飯塚病院 臨床工学部 主任／イノベーション推進本部  
工房・知財管理室 サブマネージャー 井桁 洋貴 氏
- 研究シーズ紹介1 「片麻痺の早期回復のための指運動リハビリテーションシステムの開発」  
岡山県立大学 情報工学部 人間情報工学科 助教 瀬島 吉裕 氏
- 研究シーズ紹介2 「長孔穿設装置による脊椎内視鏡手術の新たな展開」  
川崎医科大学 スポーツ・外傷整形外科学教室 准教授 玉田 利徳 氏
- 研究シーズ紹介3 「高精度温度モニタ機能を集積したレーザー照射極細光ファイバ型ハイパーサーミア治療器の開発」  
岡山大学大学院 自然科学研究科 産業創成工学専攻 教授 深野 秀樹 氏



この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>